

透析開始後のダブル チェック業務の改善報告

PeT TQM ミーティング

洛和会音羽記念病院 C E 部

吉田久美子

洛和会音羽病院リハビリテーション部

伊左治良太

洛和会音羽病院経営管理部

山口智裕

洛和ホームライフ山科東野

布施昌幸

Planning execution Team by TQM

2019年度 管理職選抜者研修(現：) 提案内容

「準管理職ミーティングの導入」

目的

多職種連携強化、次世代の育成

活動内容

- ・ **多職種チームでのQC活動推進**
- ・ 管理職ミーティングとの連携
- ・ 幹部や役員との交流



2020年9月～活動開始

洛和会 T Q M 支援センターの業務改善チームとして活動を開始

透析開始後のダブルチェック業務

【透析開始操作】

患者側と装置側それぞれ1名ずつ担当し共同で行うことが望ましい。

【当院では】

透析開始操作：1名 **+**

ダブルチェック業務

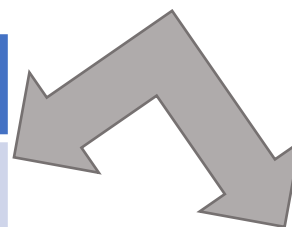
透析開始後に問題なく開始できているか、開始者とは別の職員が確認する。

ダブルチェックで確認している項目

自由記載アンケート

「ダブルチェックで見ている項目を挙げてください」

項目	割合
抗凝固剤（ワシヨット・持注含）	92%
除水量再計算	89%
ダイアライザー	83%
指示特記	73%
血圧（自動）	59%



回路の接続部 30%
抑制の状態 31%
穿刺部の状態 28%

重大事例につながる項目を確認しているのは3人に1人

ダブルチェック業務のマニュアル

ダブルチェック

1、目的

透析開始後に開始者以外の者が再度、条件の確認を行う。
異常があった場合、早期に発見することで安全な透析治療が提供できる。
患者状態、透析機器、回路状態、患者環境を十分に確認する。

2、確認項目

- ・患者状態
- ・運転モード（緑ランプ）、運転ボタン／消音ボタンを押す
- ・設定された除水量 除水速度等が書面と食い違っていないか
- ・透析膜種類、抗凝固剤種類、投与速度、ワンショット量
- ・血圧値 自動血圧測定の設定
- ・血流量 補液流量（HDF,OHDF）、静脈圧、脱血（ピロー）
- ・正しいタイマー設定
- ・透析回路、ペアンの位置、適切なクレンメのクランプ、回路の緩み
- ・申し送り、指示特記項目、それに伴う愁訴処置入力
- ・開始者、担当者
- ・シャント肢穿刺部、A・Vルート、テープ固定、抑制状態
- ・患者環境（ナースコール、不要なゴミ、酸素流量計設定など）

3、確認後

回路の接続部をしっかりと締め込んだ上で(透析膜前後や圧ライン、補液接続ラインなど)
透析膜の赤側をゆっくりと上へ回す
書面への記載

2、確認項目

項目の羅列のみ

- ・患者状態
- ・運転モード（緑ランプ）、運転ボタン／消音ボタンを押す
- ・設定された除水量 除水速度等が書面と食い違っていないか
- ・透析膜種類、抗凝固剤種類、投与速度、ワンショット量
- ・血圧値 自動血圧測定の設定
- ・血流量 補液流量（HDF,OHDF）、静脈圧、脱血（ピロー）
- ・正しいタイマー設定
- ・透析回路、ペアンの位置、適切なクレンメのクランプ、回路の緩み
- ・申し送り、指示特記項目、それに伴う愁訴処置入力
- ・開始者、担当者
- ・シャント肢穿刺部、A・Vルート、テープ固定、抑制状態
- ・患者環境（ナースコール、不要なゴミ、酸素流量計設定など）

- ・優先順位がわからない
- ・手順（作業の流れ）がわからない
- ・何が正しい状態がわからない

ダブルチェック業務マニュアル改訂①

治療開始のダブルチェック

1、目的

- ・治療開始後に開始者以外の者が時間差で安全に治療を開始している。
- ・異常があった場合、早期に発見して安全な透析治療を提供する。

2、確認項目

- 1) 除水設定 (コンソールの表示、体重用紙、DIV量)
- 2) 抗凝固剤 (種類、ワンショット、クレンメ)
- 3) 指示特記、申し送り用紙の内容
- 4) 回路の接続 (接続部の緩み、穿刺部テープ固定、抑制状態)

3、確認方法

- はじめに：「おはようございます」「機械のチェックをします」などと患者に声かけ。
- ①コンソールの除水設定と体重用紙が合っているか見る。違っていれば患者や開始者に確認の上、体重用紙に現行の除水設定を書き、サインする。
 - ②使用している抗凝固剤がコンソールの表記と合っているか、ワンショットはされているか、クレンメが開いているかを見る。
 - ③コンソールの指示特記を最後のページまで閲覧、オーバーテーブルの申し送り用紙を読み、指示されたことが実行できているか確認。
 - ④ダイアライザーの接続部、静脈圧ライン、補液ライン接続部、延長チューブと回路の接続部を締め直し、ダイアライザーの赤を上に向ける。穿刺部のテープ固定、必要時の抑制が適切に行われているか確認。
- おわりに：①～④を全て行った後に「運転」ボタンを押す。FN入力する。

全員同じ論でダブルチェックを行うよう、動画のマニュアルを添付する。

確認項目

- 1) 除水設定 (コンソールの表示、体重用紙、DIV量)
- 2) 抗凝固剤 (種類、ワンショット、クレンメ)
- 3) 指示特記、申し送り用紙の内容
- 4) 回路の接続 (接続部の緩み、穿刺部テープ固定、抑制状態)

- ・ 見逃すと重大事例になる項目に絞る。
- ・ 関連だった項目をまとめて、
大項目 → (小項目) の表記に変更。

ダブルチェック業務マニュアル改訂②

2、確認項目

1) 除水設定 (コンソールの表示、体重用紙、DIV量)

2) 抗凝固剤 (ワンショット、クレンメ)

3) 指示特記 (体重用紙の内容)

4) 回路の接続 (接続部の緩み、穿刺部テープ固定、抑制状態)

「おはようございます」「機械のチェックをします」

3、確認方法

はじめに：「おはようございます」「機械のチェックをします」など

①コンソールの除水設定と体重用紙が合っているか見る。違っていたら、
に確認の上、体重用紙に現行の除水設定を書き、サインする。

②使用している抗凝固剤がコンソールの表記と合っているか、ワンショット
いるか、クレンメが開いているかを見る。

③コンソールの指示特記を最後のページまで閲覧、オーバーテーブルの申し送
を読み、指示されたことが実行できているか確認。

④ダイアライザーの接続部、静脈圧ライン、補液ライン接続部、延長チューブと回路
の接続部を締め直し、ダイアライザーの赤を上に向ける。穿刺部のテープ固定、
必要時の抑制が適切に行われているか確認。

おわりに：①～④を全て行った後に「運転」ボタンを押す。FN入力する。

全員同じ流れでダブルチェックを行うよう、動画のマニュアルを添付する。

①コンソールの除水設定と体重用紙が合っているか見る。
違っていたら患者や開始者に確認して、体重用紙に現行
の除水設定を書き、サインする。

②使用している抗凝固剤がコンソールの表記と同じか？
ワンショット済みか？クレンメが開いているか？を見る。

目指したのは「**料理のレシピ**」

- ・誰でも同じように順番で同じ動きができるように。
- ・さらにイメージしやすいように動画も作成。

試行後アンケート結果

やりやすくなったか

やりやすい	40%
やりにくい	2%
変わらない	58%

「抜け」はみつけやすくなったか

みつけやすい	35%
みつけにくい	0%
変わらない	65%

人に教えやすくなったか

教えやすい	64%
教えにくい	26%
変わらない	10%

- ・それまでと違う手順を浸透させることは容易ではない

- ・インシデント減少や、所要時間の短縮などの実感できるメリットは未だ見えない

- ・ **「正しいダブルチェック」が明確になり、業務の基準ができた**

「動画がわかりやすい」